

移住・定住最新情報

移住・定住に関する情報は以下のホームページやパンフレット等でも発信しています。

■問合せ 本所地域振興課 ☎25 - 2111内線585



つるおか移住・定住促進サイト
「前略 つるおかに住みマス。」
※フェイスブックページもあります。



左:『Cue: 山形県鶴岡市移住ガイドブック』
右:『KiRo つるおかUターンガイド』

移住を取り巻く「今」

「農業をしてみたい」「豊かな自然の中で子育てをしたい」「第二の人生を田舎で暮らしたい」。就職や退職、結婚や出産、子育て等の節目に、都会にはない暮らしや地方ならではの豊かさを求めるため、地方都市へ移住しようとする人が増えています。首都圏で開催される移住関係イベントには多くの人が来場し、にぎわいを見せています。

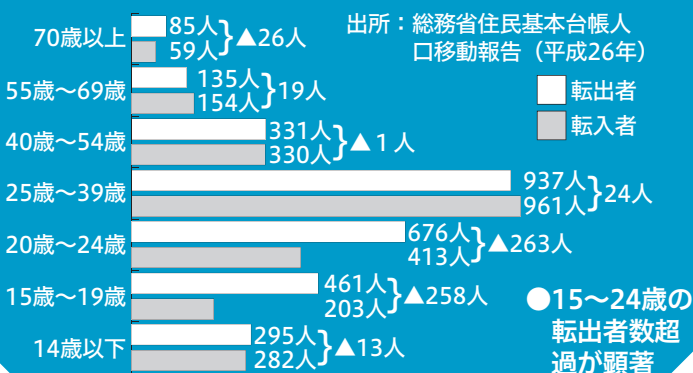
この動きを好機と捉え、人口減少問題で悩む自治体を中心に、自分たちの町への移住・定住に結び付けようとする取り組みが広がっています。

市の現状と取り組み

市の人口を見ると、平成十二年以降人口減少幅が急激に大きくなり、十七年までの十五年間で約一万八千人が減少。特に進学や就職で十代後半～二十代前半の若い人の転出が進んでいます。市では人口減少に歯止めを掛けようと、「移住・定住の促進」を重要課題に掲げ、移住希望者を総合的に支援する仕組みや制度を充実させています。

移住には仕事や住まいなど多くの悩みや心配事があります。総合相談窓口の移住コーディネーターを中心に就業や起業、就農、住居に詳しいスタッフが連携し、様々な相談に応じています。特に移住の実現には「人とのつながり・結び付きが重要」という声が多くあります。先輩の移住者や地域住民とのネ

統計トピック 転入者と転出者を見ると...



統計トピック 自然・社会動態を見ると...

	自然動態		社会動態	
	出生数	死亡者数	転入者数	転出者数
平成5年	1,486人	1,385人	3,572人	3,736人
	101人		▲164人	
平成15年	1,143人	1,674人	3,234人	3,918人
	▲531人		▲684人	
平成25年	908人	1,854人	2,714人	3,473人
	▲946人		▲759人	

出所：鶴岡市の統計書（平成25年版）

- 出生数と死亡者数の差が年々広がる
- 転出者数超過が人口減少に拍車を掛ける

▼各分野の専門人材が連携し移住・定住を支援

起業



自分の好きなことの小商いで、自分も地域もハッピーに。欲しい未来は自分で創ろう。

ナリワイコーディネーター
井東敬子さん

月3万円ビジネスを始めたい

空き家バンクを利用したい

住居



空き家情報のデータベース「空き家バンク」を活用して、相談者と所有者をつなぎます。

つるおかランド・バンク
新館美佐子さん

仲間づくりをしたい

職歴や経験を生かしたい

移住



気持ちに寄り添い丁寧に対応します。人と人のつながりを大切に、皆が暮らしやすいまちに。

移住コーディネーター
俵谷敦子

移住したい

中古住宅をリフォームしたい

家庭菜園がしたい

就業



働きながらの就職活動は大変です。ご希望を伺いながら、再就職のお手伝いをしています。

若者就職支援員
齋藤正幸

Uターン転職したい

リースの農業機械を探したい

就農



就農に関する各種相談や現地指導を通して、新規就農者の支援を行います。

新規就農アドバイザー
鈴木哲夫

ネットワーク作りなども意識し相談に当たっています。さらに、住宅・子育て・就職・就農に関する支援制度を拡充するほか、インターネットでの移住体験談や移住・定住情報の発信、移住・定住のガイドブックやリーフレットを成人式で配付するなど、若い人たちへのPRにも力を入れています。

また黄金地区では移住をテーマとした交流会や移住者の歓迎会が開かれるなど、地域が主体となって移住者を受け入れようとする動きも出てきました。

みんなで創ろう住みよい鶴岡

鶴岡は各出版社が企画する住んでみたい地方都市ランキングで上位に位置し移住希望者が注目する地方都市の一つです。移住相談件数も二十六年度は年間十五件でしたが、昨年度は九十件に増加。この中で約四十人が移住を決めました。これからも移住・定住者を多く迎え入れるためには、鶴岡が様々な可能性を見いだせるような魅力あふれる地方都市であることが必要です。「食文化」をはじめ、誇れる地域資源を見つめ直し、磨き上げることが魅力向上につながります。

市では移住者を人口の「一人」という数ではなく、新たに鶴岡に住み地域住民とともに、住みよい鶴岡の未来を創っていく「一員」と捉えています。市の「移住・定住の促進」取り組みについて、ご理解とご協力をよろしくお願ひします。

●移住者の受入れに取り組む地域の声 - 黄金地区 -



黄金地区自治振興会
会長 五十嵐正谷さん

移住者と地区住民との交流会を開催しましたが、興味があったのでしょうか、地元の人が多く集まるよい機会でした。移住者を受け入れるには、地区の暗黙のルールや文化が必要と感じています。また、黄金地区の歴史や文化を学ぶ機会もつくっていきたい。そこから、今住もうとしている土地の魅力も見えてくると思います。移住者がここに来て本当に良かったと思えるよう、一朝一夕ではなく長い期間をかけ、定住へ向けた支援をしたいです。



鶴岡市の支援制度

働きたい

▼仕事を探す

鶴岡ワークサポートルーム

市内在住の満35歳以下の方と鶴岡市へのU I ターン希望者（年齢不問）の就業を支援する若年者等無料職業紹介と、在宅での仕事を希望する方へ内職に関する相談・あっせんを行います。
問 鶴岡ワークサポートルーム ☎25 - 2215

鶴岡 job cafe

鶴岡の企業とU I ターン就職希望者が交流するイベントを東京で開催します。鶴岡ワークサポートルームも出張相談します。

日 7月17日④

場 移住・交流情報ガーデン（東京都中央区京橋）

問 本所商工課 ☎内線563

▼仕事をつくる

庄内産業振興センター

独立・開業しようとしている方や起業して間もない経営者のため、起業家育成施設の運営、起業家応援セミナーの開催、開業準備から経営指導までを行う「起業・ビジネス相談室 B - Support」を設置し支援します。

問 庄内産業振興センター ☎23 - 2200

鶴岡ナリワイプロジェクト

若者が好きなこと・地域に役立つことで小さく起業すること（ナリワイ）につながる研修を実施します。

問 鶴岡ナリワイプロジェクト事務局メールアドレス nariwaikoubou@gmail.com

●移住の先輩の声

故郷である鶴岡で仕事を探す際に、ワークサポートルームに登録しました。希望通りの職種が見付かるか不安もありましたが、職歴や得意な分野に合わせて紹介していただき心強かったです。幅広い求人情報を知ることができるので、ぜひ登録してみてください。



富樫修さん

就農したい

▼農業を始める

相談窓口

農業を始めるには情報収集や就農相談を通して、農業を具体的にイメージし、研修で技術や知識を身に付けるなどの準備が必要です。市では「新規就農アドバイザー」を中心に県や農協等と連携し、農業経営に必要な住居・農地・技術・指導者等の確保を支援します。

問 本所農政課 ☎内線555



▼新規就農支援

鶴岡市新規就農者研修受入協議会

新規就農に向けて必要な技術や知識を身に付けるための農業研修を受けるに当たり、研修受入先の仲介や研修計画の作成支援、就農に向けた各種相談などを行います。

問 本所農政課 ☎内線555

青年就農給付金 [準備型・経営開始型]

就農前の研修期間（最長2年間）及び就農後の農業経営が不安定な時期（最長5年間）に給付金を給付し、研修や経営を支援します。

問 本所農政課 ☎内線555

鶴岡市U I ターン就農者支援事業補助金

UI ターン就農者を対象に、住宅賃貸料や農業機械リース料の一部を助成します。

問 本所農政課 ☎内線555

●移住の先輩の声

妻の実家がある鶴岡に1年前に移住し、今は青年就農給付金 [経営開始型] 受給に向け準備中です。鶴岡はU I ターン就農支援や受入組織もあって就農しやすい環境です。県、市、農協、地域の農家の方に相談しながら、農業体験や研修をされると良いかと思います。



黒澤剛さん

きっと暮らしたくなる

住みたい

▼空き家を探す

NPO法人つるおかランド・バンク

つるおかランド・バンクは「空き家バンク事業」を運営しています。市内の空き家・空き地情報を発信し、購入または賃貸を希望する方と所有者をつなぎます。

問つるおかランド・バンク ☎64 - 1567

▼住宅支援

鶴岡市住宅リフォーム支援事業補助金

市内にある自己居住用住宅（中古住宅を購入して居住する場合を含む）のリフォーム工事または耐震改修工事を、市内業者に発注して行う場合、補助金を受けられます。また、本人または同居家族が市外から移住する場合や婚姻・出産した場合、空き家を活用した場合は補助金が上乘せされます。

問本所建築課 ☎内線484



若者世帯新築支援事業補助金

若者世帯が住宅を新築する場合、補助金を受けられます。また「移住世帯」かつ「婚姻世帯」または「子育て世帯」のいずれかに該当する場合は補助金が上乘せされます。

問本所建築課 ☎内線484

●移住の先輩の声

つるおかランド・バンクのホームページを見たり、事務所に行ったりして、希望に沿った物件を探しました。スタッフも親身に対応してくれてとても助かりました。リフォームに関する補助金も充実していて、空き家には様々な可能性があると感じています。



佐久間麻都香さん

育てたい

▼子育て情報を探す

転入者のための子育て案内講座

妊 娠中や就学前の子供がいる転入者の方へ、鶴岡市の子育て情報を紹介します。また、実家が遠かったり、友達が近くにいなかったりして「新しい生活が不安」「友達が欲しい」という方のために、情報交換ができる交流タイムもあります。

問子ども家庭支援センター ☎25 - 2741

▼子育て支援

中学3年生までの医療費無料化

中 学3年生までの子供の医療費について、保険診療の自己負担分全額を助成します。

問本所国保年金課 ☎内線128



第3子以降の保育料無料化

4 月に18歳未満の子供が3人以上の場合、第3子以降の保育料は無料です。ひとり親世帯等の保育料が軽減される場合もあります。

問本所子育て推進課 ☎内線148

●移住の先輩の声

以前住んでいた市では子育て支援センターが満員になると入場制限されましたが、鶴岡の子ども家庭支援センターではゆったりしたスペースで子供を遊ばせることができます。また保育園や認定こども園が増設されているため、園を選びやすかったです。



永井あずささん